

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
226	現代の国語演習	2	2	総合学科 工業科	選択

履修条件、選択上の留意事項等
1年次に現代の国語を履修していること。

科目の目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価の方法	
学習内容に関心を持ち授業での自身の考えをまとめ発表する意欲、課題を見つけ解決に向けて取り組む態度等を多面的に評価する。 課題の達成状況により、知識・技術の習得状況や思考・判断・表現力について評価する。	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	人間の風景	十六歳のとき（星野道夫）	比喩などの修辞について理解を深めている。	○		
			主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	○		
			文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。		○	
			本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。			○
5	話して伝える	論理的な表現	主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	○		
			自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫している。		○	
			進んで主張と根拠と理由付けの関係を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。			○
6	話して伝える	情報の探索と選択	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。	○		
			目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。		○	
			進んで情報の信頼性や妥当性を確かめ、学習の見通しをもって吟味しようとしている。			○
7	書いて伝える	地域の魅力を紹介する	文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。	○		
			読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。		○	
			教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に紹介文を書こうとしている。			○

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
9	生活の中の表現	法律の改正に関わる文章を読み比べる	推論の仕方について理解を深め使っている。	○		
			情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。	○		
			文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。		○	
			異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。			○
10	書いて伝える	自校の生徒の生活実態を調査する	書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさなどに配慮した表現について理解を深め使っている。	○		
			目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。		○	
			書いた報告文を進んで批評し合い、批評を踏まえて情報の扱いや表現の仕方を工夫しようとしている。			○
11	書いて伝える	社会に対する意見文を書く	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。	○		
			自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。		○	
			目的に応じてテーマを決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。			○
12	話して伝える	情報源の明示	引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。	○		
			目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。		○	
			進んで引用の目的と方法を理解し、例を踏まえて理解しようとしている。			○
1	話して伝える	スピーチで自分を伝える	話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使っている。	○		
			自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。		○	
			進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。			○
2	論理分析	【推論】AIは哲学できるか	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。	○		
			個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	○		
			文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。		○	
			論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。			○

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
228 334	静岡の歴史	2	2 3	総合学科・工業科 総合学科	自由選択 系列選択H

履修条件、選択上の留意事項等
2年次自由選択で履修したものは3年次履修不可

科目の目標
(1)静岡県や自分たちが生活している身近な地域を歴史的な見方・考え方により、課題を追求したり解決したりする活動を通じて、広い視野から歴史を身近なものとしてとらえるとともに、地域から日本、ひいては世界全体を考えるグローバルな視点を養う。 (2)静岡県の歴史の変化に関わる諸事象について、周辺地域や環境を相互的に捉え、現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技術を身に付ける。 (3)静岡県の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、相互の関連、現代とのつながりに着目し、多面的に考察し、歴史上の課題を視野に入れて構想する力、構想したことを効果的に説明し、それを基に議論する力を養う。 (4)静岡県の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を意識して課題を主体的に追求し解決する態度を養うとともに、多面的な考察や深い理解によって養われる静岡県民としての自覚を持ち、静岡県の歴史に対する理解や文化を尊重することの大切さを学ぶ。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	静岡県と日本全体の関わりを把握し、静岡の歴史を理解する。
② 思考・判断・表現	地域の成り立ちを理解し、果たすべき役割や問題を自ら考え、よりよい解決の方法を考察する。 調べたこと、感じたことをまとめ、表現する。
③ 主体的に学習に取り組む態度	静岡の歴史に興味や関心を持ち、静岡に対する愛情を深める。
評価の方法	
レポートと発表、小テスト	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	オリエンテーション 静岡の現状	資料に学ぶ静岡県の歴史	学習内容の確認。 静岡の現状について理解する。	○		
5	鎌倉幕府の成立と 執権政治の確立		源頼朝・北条氏と伊豆の関わりを中心に、歴史を概観する。	○		
6						
7	静岡県の災害の歴史と 富士山の噴火の歴史		静岡県で発生した災害と富士山の形成や噴火の歴史について学ぶ。		○	
8						
9	静岡県の産業の歴史		静岡県で盛んな産業を知り、その歴史を学ぶ。		○	○
10	静岡県の都市の歴史		静岡県の都市の成立や歴史的建造物や伝統行事を学ぶ。		○	○
11	私の住む町		自分の住む町の歴史を学び、魅力を発信する。		○	○
12						
1	静岡県に ゆかりのある人物 1年間の振り返り			静岡県にゆかりのある人物を取り上げ、学習する。	○	
2						

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
222	数学B	2	2	総合学科	系列選択C

履修条件、選択上の留意事項等
数学Ⅱを履修していること

科目の目標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
② 思考・判断・表現	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
③ 主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価の方法	
定期テスト、ワークシート、課題などの提出物への取組状況、授業への取組状況 など	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	等差数列と等比数列	数列と一般項	数列についての基本的な用語の意味を理解する。	○		○
		等差数列	等差数列について理解し，一般項や和を求めることができる。	○	○	
		等差数列の和				
		等比数列	等比数列について理解し，一般項や和を求めることができる。	○	○	
		等比数列の和				
5	いろいろな数列	和の記号 Σ	和の記号 Σ について理解し，一般項が3次以下の多項式で表される数列の和を求めることができる。		○	○
		階差数列	階差数列について理解する。また，数列の和と一般項の関係について理解し，一般項を求めることができる。		○	○
		いろいろな数列の和	いろいろな数列の和や，群数列について考察することができる。		○	
	漸化式と数学的帰納法	漸化式	漸化式について理解し，さまざまな事象の考察に応用することができる。		○	
数学的帰納法		数学的帰納法について理解し，数学的帰納法を用いてさまざまな命題を証明することができる。		○	○	
6						

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
9	確率分布	確率変数と確率分布	確率変数、確率分布の意味を理解し、確率分布を求めることができる。	○		
10		確率変数の期待値と分散	確率変数の平均と分散、標準偏差の意味を理解する。また、確率変数 X と $aX+b$ におけるそれらの値の関係について理解し、求めることができる。		○	○
		確率変数の和と積	確率変数の和の平均、および独立な確率変換の積の平均や和の分散を求めることができる。		○	
11		二項分布	二項分布の特徴を理解し、二項分布に従う確率変数 X が条件をみたす確率や、 X の平均、分散を求めることができる。		○	○
12		正規分布	連続分布、正規分布について理解し、正規分布に従う確率変数が条件を満たす確率を求めることができる。また、正規分布に近似することで二項分布について考察することができる。		○	
1	統計的な推測	母集団と標本	母集団の平均、分散、標準偏差を求めることができる。	○		
		標本平均の分布	母集団分布と標本分布の関係、および標本平均の分布の特徴について理解し、標本平均の平均と標準偏差や、標本平均が条件を満たす確率を求めることができる。	○	○	
2		推定	得られた標本から母集団の特徴を表す値を推測する方法として、正規分布を利用した信頼区間の考え方を理解し、母平均および母比率を推定することができる。		○	○
		仮説検定	得られた標本から母集団に関する主張が妥当かどうかを判断する方法として、正規分布を利用した仮説検定考え方を理解し、母平均および母比率に関する主張について仮説検定することができる。			○

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
230	ライフスポーツ	2	2	全学科	自由選択

履修条件、選択上の留意事項等

将来、体育系・保育系・福祉系の大学や専門学校、理学療法士などを目指している運動部所属の生徒が対象である。
定員は20名程度とし、多い場合は調整する。

科目の目標

幅広い年齢層で行うことのできるスポーツを実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己や他者に応じた運動環境、習慣を整える資質・能力を育成することを目指す。

- (1)安全に留意して運動を実践できる能力とスポーツの特性に応じた技能を身につけている。
- (2)年齢と体力に応じた課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝え、指導する力を養う。
- (3)将来の労働・日常生活において健康・安全を確保して、主体的に運動とかかわっていく態度を養う。

評価の観点とその趣旨

① 知識・技能	それぞれのスポーツの特性と安全性について理解している。 それぞれのスポーツの技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、解決に向けて指導する力を身に付けている。 自己や集団の運動計画を立て、他者に伝えている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	健康・安全に留意して、主体的に取り組もうとしている。

評価の方法

- ・運動の知識・技能の点検、確認、分析（ペーパーテスト、スキルテスト、学習プリント 等）
- ・記述の点検、確認、分析（学習プリント・グループワーク 等）
- ・行動の観察、確認（グループ活動の姿勢、安全性の確保、授業への取組状況 等）

学習計画

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	ネット型	バレーボール	用いられる技術のポイントや作戦、戦術について理解することができる。	○		
			仲間と連携して、拾い、つなぎ、打ち返すことができる。	○		
			自己や仲間の動きを観察し、それぞれの課題を発見し、改善すべきポイントを仲間に伝えている。		○	
			健康・安全を確保し、主体的に取り組んでいる。			○
5	ターゲット型	ゴルフ	クラブの特性と用いられる技術のポイントについて理解することができる。	○		
6			距離に応じて使用クラブを変え、狙った場所へ打つことができる。	○		
7			自己や仲間の動きを観察し、それぞれの課題を発見し、改善すべきポイントを仲間に伝えている。		○	
			健康・安全を確保し、主体的に取り組んでいる。			○
9	地域スポーツ	自転車競技	用いられる技術のポイントや安全性について理解することができる。	○		
10			安定した自転車の操作を用いてスピードに乗って進むことができる。	○		
11			自己や仲間の動きを観察し、それぞれの課題を発見し、改善すべきポイントを仲間に伝えている。		○	
			健康・安全を確保し、主体的に取り組んでいる。			○
12	ゴール型	バスケットボール, サッカー	用いられる技術のポイントや作戦、戦術について理解することができる。	○		
1			安定したボール操作と空間を使う動きによって攻防をすることができる。	○		
			自己や仲間の動きを観察し、それぞれの課題を発見し、改善すべきポイントを仲間に伝えている。		○	
			健康・安全を確保し、主体的に取り組んでいる。			○
2	ネット型	卓球	用いられる技術のポイントや作戦、戦術について理解することができる。	○		
			様々な打ち方と球種で狙った場所へ打ち返すことができる。	○		
			自己や仲間の動きを観察し、それぞれの課題を発見し、改善すべきポイントを仲間に伝えている。		○	
			健康・安全を確保し、主体的に取り組んでいる。			○

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
231	音楽Ⅱ	2	2	総合学科 工業科	自由選択

履修条件、選択上の留意事項等

音楽Ⅰを履修した生徒

科目の目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

評価の観点とその趣旨

① 知識・技能	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。
② 思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことを感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

評価の方法

実技やレポートを中心に、授業態度や課題で総合的に判断して評価する。

学習計画

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4 5	歌唱（日本歌曲） 器楽（アンサンブル） 創作（知識と技能）	中田喜直作曲「早春賦」 岡野貞一作曲「みあげてごらん夜の星を」 BGMをつくろう	歌唱に適した姿勢、呼吸法を習得し、体全体を使って歌唱することができる。 リコーダーの基礎的演奏技法を習得し、デュエットで演奏できる。 音階や音程について理解し、BGMの創作ができる。		○	
6 7	歌唱（イタリア歌曲） 器楽（アンサンブル） 創作（知識と技能）	ベッリーニ作曲「優雅な月よ」 「夏は来ぬ」 BGMをつくろう	歌唱に適した姿勢、呼吸法で発声し、イタリア語の正しい発音で歌詞の意味を理解して歌唱することができる。 リコーダーの基礎的演奏技法を定着させ、曲の構成や曲想を考えてデュエットで演奏できる。 音階や音程について理解し、BGMの創作ができる。		○	
9 10	歌唱（ドイツ歌曲） 器楽（和楽器） 創作（知識と技能）	シューベルト作曲「セレナード」 日本の伝統音楽 西洋音楽の楽典	歌唱に適した姿勢、呼吸法で発声し、ドイツ語の正しい発音で歌詞の意味を理解して歌唱することができる。 篠笛の基本的奏法を習得し、民謡を演奏できる。 リズムや拍子について理解し、4小節の旋律聴音と創作ができる。		○	
11 12	歌唱（合唱） 器楽（和楽器） 創作（知識と技能）	橋本祥路作曲「時の旅人」 日本の伝統音楽 西洋音楽の楽典	歌唱に適した姿勢、呼吸法で発声し、美しいハーモニーで合唱することができる。 篠笛の基本的奏法を習得し、日本歌曲を演奏できる。 音階や音程について理解し、8小節の旋律聴音と創作ができる。		○	
1 2	鑑賞（オーケストラ） 器楽（打楽器合奏） 創作（知識と技能）	「春の祭典」 クラッピングカルテット第2番 楽典	ストラヴィンスキーの「春の祭典」を聴き、音楽史上の大事件の内容と、音楽の特徴を理解し、この曲の斬新な響きを理解する。 篠笛の基本的奏法を習得し、簡単なわらべ歌を演奏できる。 4小節の駅の発車ベルの創作		○	

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
232	美術Ⅱ	2	2	総合学科 工業科	自由選択

履修条件、選択上の留意事項等
美術Ⅰを履修した生徒

科目の目標 美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中で美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができる。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解できる。・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。・素材と対話しながら、制作行動ができる。・個性的な表現の強さがある。
② 思考・判断・表現	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し創造的に発想してアイデアを練ることができる。・立体的に対象をとらえ、構図を考えながら表現することができる。・美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	・美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。・説明をよく聞き、授業に主体的に取り組むことができる。制作に没頭することができる。
評価の方法	
ア、制作作品　イ、アイデアスケッチ　ウ、レポートの記述内容　エ、授業への取組等行動観察　オ、提出物の内容	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	画面構成	記憶の中の風景	自然や自己、社会などを深く見つめ、感じ取ったことから主題を生成できる。			○
5		心の記録、創造の源	主題に応じて表現形式について考え、個性豊かに表現することができる。	○		
6		構図を工夫して撮る	発想や構成したことを基に創造的に表すことができる。		○	
7	鑑賞 ファンエイク	絵に隠された謎	鑑賞により、造形的な良さや美しさなどを感じ取ることができる。		○	
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
9	色彩構成	色を選ぶ	対象や事象を捉える造形的な視点について、理解を深めることができる。		○	
10		色を深く知ろう	表現の意図と創造的な工夫について考え、深めていくことができる。			○
11		情報を視覚化するデザイン	主題にあった表現方法を創意工夫し、個性豊かに創造的に表すことができる。	○		
12	鑑賞と美術史	作家の生涯と作品	発想や構想の独自性と表現の工夫などについて、多様な視点から考え、見方、感じ方を深めることができる。			○
		ブランクーシ	時代、民族、風土、宗教などによる表現の相違点や共通点などから美術、文化について考えることができる。			
1	木の彫刻	想像上の生物をつくる	形体や質感、動勢やマッサなどの造形的要素について理解を深め、創意工夫することができる。		○	
2		身近な材料でつくる	意図に応じて材料や用具の特徴を生かすことができる。	○		

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
233	書道Ⅱ	2	2	全学科	自由選択

履修条件、選択上の留意事項等
選択クラス授業

科目の目標 書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の創造的諸活動に取り組み、生涯にわたり書を楽しむ心を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	・ 書の表現の方法や形式、多様性などについて深く理解している。 ・ 書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。
② 思考・判断・表現	・ 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	・ 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い創造的な諸活動に取り組もうとしている。
評価の方法	
ワークシートの記入内容、作品鑑賞カードの記入内容、発表の内容、小テスト、作品、授業に取り組む姿勢などをもとに総合的に評価する。	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	硬筆の基礎 漢字の書の鑑賞と臨書	基本的な筆遣い 書道Ⅰの復習	用具用材の取り扱い方、姿勢と執筆法などの学習活動を意欲的に取り組んでいる。			○
5	篆刻の学習	漢字の歴史の理解	篆刻の歴史や押印の方法などを理解している。	○		
		印を彫る	用具用材の使い方を理解し、学習活動に意欲的に取り組んでいる。			○
		名印の鑑賞	篆書で氏名印を作成し、篆刻の技法を確認し表現することができる。		◎	
6	漢字の書(隷書)	古典の臨書	隷書の特徴について理解している。	○		
		「曹全碑」	古典の美を感じ(隷書の用筆法(逆筆・中鋒・)構成法(横長・波磔・横画水平)を理解し、表現することができる。		◎	
		「乙瑛碑」	古典の線質、字形や構成を生かした表現をすることができる。		○	
		「木簡」	書を構成する要素や表現効果、風趣を感じ取り、言葉で表現することができる。	○		
		「礼器碑」 「張遷碑」	書の表現及び鑑賞に意欲的に取り組んでいる。			○
7	隷書創作		創作の手順に従い、篆書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作することができる。		◎	
			創作作品を鑑賞し合い、自らの考えを積極的に伝えることができる。			○

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
9	漢字の書(草書)	古典の臨書 「書譜」 「十七帖」	草書の特徴を理解している。	○		
			古典の線質、字形や構成を生かした表現をすることができる。		◎	
			書を構成する要素や表現効果、風趣を感じ取り、言葉で表現することができる。	○		
			書の表現及び鑑賞に意欲的に取り組んでいる。			○
10	漢字仮名交じりの書	創作「詩を作る」	漢字と仮名の古典を鑑賞し、それぞれの特徴を理解している。	○		
			漢字と仮名の古典を調和させ、表現することができる。		◎	
11			主体的に書の表現及び鑑賞に意欲的に取り組んでいる。			○
			詩のイメージに合わせて表現を工夫することができる。		◎	
12	仮名の書の学習	仮名の基本 仮名の臨書 「蓬莱切」 「高野切第三種」 「高野切第一種」 年賀状を書く	仮名の成立について理解している。	○		
			仮名の基本的な用筆・運筆法を理解し表現することができる。		○	
			古典の美しさを感じ取り、仮名の用筆・運筆、特徴の違いについて理解し表現することができる。		◎	
			書を構成する要素や表現効果、風趣を感じ取り、意欲的に取り組んでいる。			○
1	漢字仮名交じりの書	新年の抱負を書く	行書・隸書特徴を理解している。	○		
			漢字と仮名の調和させ、表現することができる。		○	
			書の表現及び鑑賞に意欲的に取り組んでいる。			○
			抱負のイメージに合わせて表現を工夫することができる。		◎	
2	漢字の書(創作)	四字熟語を書く	行書・隸書特徴を理解している。	○		
			書体の特徴を生かし表現することができる。		◎	
			書の表現及び鑑賞に意欲的に取り組んでいる。			○
			四字熟語の意味に合わせて表現を工夫することができる。		○	

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
234	中国語	2	2	全	選択

履修条件、選択上の留意事項等

科目の目標
・中国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。 ・情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	中国語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
② 思考・判断・表現	中国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
評価の方法	
・ 定期試験、課題の提出状況、授業への積極的な取り組みを総合的に評価する。	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	導入 1課	中国語について 中国語の発音について 1課 あなたは中国人ですか？	ピンインを正しく発音できる 人称代名詞の理解	○		○
5	第2課 第3課	2課 これは何ですか？ 3課 あなたはどこに行きますか？	学校に関する単語の理解 指示代名詞、動詞の理解	○	○	
6	4課 5課	4課 このバッグはいくらですか？ 5課 あなたは午後用事がありますか？	持ち物、日課に関する単語の理解 量詞、数字の理解	○	○	
7	1課～5課	復習	時刻や日付を表現することができる			○

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
9	6課 7課	6課 あなたはもう食事をしましたか？ 7課 あなたはどこに住んでいますか？	料理、部屋に関する単語の理解 完了、前置詞の理解	○	○	
10	8課 9課	8課 アルバイトは何時からですか？ 9課 あなたはアメリカに行ったことがありますか？	街、旅行に関する単語の理解 過去の経験を表現できる	○	○	
11	10課 11課	10課 あなたは歌を歌えますか？ 11課 あなたは今なにをしていますか？	余暇に関する単語の理解 助動詞、動作の進行形を表現できる	○	○	
12	6～10課	復習	動作の様態を表現できる			○
1	12課	12課 あなたが北京に来ることを歓迎します。	北京に関する単語の理解 比較の表現を使うことができる	○	○	
2		復習	助動詞、進行形、比較表現の定着			○

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
235	生活と福祉	2	2	総合学科 工業科	自由選択

履修条件、選択上の留意事項等
特になし

科目の目標 家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 （２）高齢者の健康と生活、介護などに関する課題を発見し、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 （３）家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身につけている
② 思考・判断・表現	高齢者の健康と生活、介護などに関する諸問題を発見し、援助者としての倫理観をふまえて、合理的かつ創造的に解決をする力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価の方法	
定期テスト、小テスト、課題レポートやその他提出物等への取組状況、授業への取組状況	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	人の人生と生活・健康	健康の概念	健康の概念について身体的、精神的、社会的側面から全体的にとらえ、健康観が様々な影響を受けることを理解する。	○		
5	高齢化の現状と高齢者の特徴	ライフステージと健康管理	生涯を通じた健康づくりには、日頃の健康管理や日常生活の見直しが必要であることを理解する。	○	○	
		高齢化の現状	高齢化の原因と日本の高齢者福祉の特徴を理解する。	○		
		高齢者の心身の特徴と病気	加齢による心身の変化とその特徴を具体的に理解する。 高齢者の病気や事故のの特徴について理解する。	○		
6	高齢者の自立生活支援	高齢者の生活課題と施策	高齢者の生活課題と高齢社会に対する施策を理解する。	○		○
		自立生活支援の基本となる考え方	個人の尊厳とは何か理解し、介護の在り方を考察する。 社会福祉の基本的な考え方と高齢者の自立生活を支える地域の役割について理解する。	○	○	
		高齢者介護	介護予防の考えに基づいた見守りや支援の重要性について理解する。	○	○	○
7	高齢者支援の法律と制度	社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ	高齢者福祉の歩みを理解し、関係法の目的や理念、具体的施策について考察する。	○		

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
9		介護保険制度	介護保険制度の主な介護サービスやサービス利用までの流れについて理解する。	○	○	
		高齢者支援と地域包括ケアシステム	高齢者支援の様々な制度について理解し、その課題について考察する。	○	○	○
10	介護・看護の実習と生活支援	介護の実習 ・体位変換、ベッド上の体位変換 ・歩行介助 ・車椅子の移乗移動の介護 ・食事の介護 ・衣服の着脱の介護 ・身体の清潔の介護 ・排泄の介護	高齢者の心身の変化に対応し、基礎的な介護に関する技術を理解、習得する。	○	○	○
11		看護の実習 ・家庭看護の意味 ・バイタルサインの見方 ・口腔の清潔 ・誤嚥と窒息 ・転倒と骨折				
12		・低温やけど ・脱水 ・熱中症 ・高血圧と低血圧 ・糖尿病				
1		生活支援 ・生活支援の考え方 ・「衣食住」の生活支援 ・高齢者の販売取引トラブル ・レクリエーション ・ボランティア活動	高齢者が地域で自立生活ができるよう、生活援助に関する技術を理解、習得する。	○	○	○
2						